

# 第19回ファーマサイエンスフォーラム

## “バイオ医薬の現状と未来”

19<sup>th</sup> Pharmascience Forum

“Current Situation and Future of Biopharmaceuticals”

日時： 2012年7月25日 13:00~17:40

場所： 北海道大学薬学部臨床薬学講義室

近年、従来の医薬品では対応できない難治性疾患に対しては、抗体医薬等に代表されるバイオ医薬の登場により大きく治療法が変わり、劇的に効果を上げるケースが出てきています。そのため、新薬の開発は従来の低分子から高分子であるバイオ医薬品へと徐々にシフトしはじめています。

そこで本フォーラムでは、バイオ医薬分野で注目されている最先端研究者6名を招聘し、“バイオ医薬の現状と未来”をテーマとして開催いたします。

- |             |                            |                                 |
|-------------|----------------------------|---------------------------------|
| 13:05~13:45 | はじめに                       | 前仲 勝実 (北海道大学大学院薬学研究院)           |
| 13:05~13:45 | 抗原抗体相互作用の熱力学的解析：次世代創薬を目指して | 津本 浩平 (東京大学医科学研究所)              |
| 13:45~14:25 | バイオ医薬品創製を目指したプロテインエンジニアリング | 阿部 義人 (九州大学大学院薬学研究院)            |
| 14:25~15:05 | 低分子化合物を識別する抗体の分子認識メカニズム    | 森岡 弘志<br>(熊本大学大学院生命科学研究部 (薬学系)) |
| - 休 憩 -     |                            |                                 |
| 15:20~16:00 | 化学修飾DNAを利用するRNAi創薬の新展開     | 南川 典昭 (徳島大学薬学部)                 |
| 16:00~16:40 | 架橋型核酸の開発と創薬への展開            | 小比賀 聡 (大阪大学大学院薬学研究科)            |
| 16:40~17:30 | 次世代バイオ医薬開発への期待             | 熊谷 泉 (東北大学大学院工学研究科)             |
| 17:30~17:40 | 閉会の挨拶                      | 松田 彰 (北海道大学大学院薬学研究院)            |

主催： 北海道大学大学院薬学研究院 創薬科学研究教育センター  
日本薬学会北海道支部

協力： 北海道大学探索医療教育研究センター  
北海道大学病院高度先進医療支援センター

問い合わせ先： 前仲勝実(北海道大学大学院薬学研究院 教授・センター長)  
松田 彰(北海道大学大学院薬学研究院 教授・研究院長)

TEL: 011-706-3970 or 011-706-3773 (内線3970 or 3773)